

宇宙開発利用推進費について

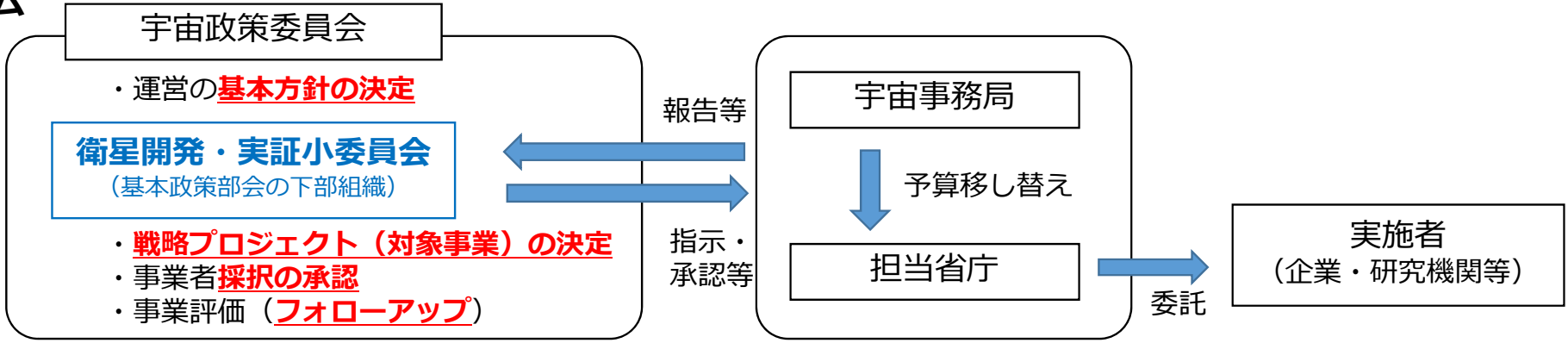
令和3年1月29日

内閣府 宇宙開発戦略推進事務局

宇宙開発利用推進費【70億円（R2補正57億円／R3当初13億円）】

- 月面開発、衛星基盤技術の強化など、**各省の縦割りを排し、連携して取り組むべき研究開発プロジェクト**を推進する新規予算として、宇宙開発利用推進費（補正57億円、当初13億円）を計上。
- 当該予算を原資として、「**宇宙開発利用加速化戦略プログラム（スターダストプログラム）**」を創設。**衛星開発・実証小委員会において対象となる戦略プロジェクトを選定**し、内閣府に一括計上した予算を各省移し替えて執行。

○スキーム



○基本方針のポイント

- ◆ 戦略プロジェクト選定の視点
 - 視点①：安全保障や経済成長などの観点から、自立性を維持・確保する上での優先度が高い
 - 視点②：官民の共通基盤として活用が期待される技術、又は、月面開発など様々な要素技術の結集・発展が必要な技術
 - 視点③：縦割りの打破、各省連携が必要
- ◆ 小委員会の役割（対象事業決定、採択承認、フォローアップ）等

基本方針（案）の概要

・目的、PJ選定の視点、小委員会の役割などプログラム運営の基本的事項を定める。

1. 基本的な考え方

◆ プログラムの目的

◆ プロジェクト選定の視点

視点①：安全保障や経済成長などの観点から、我が国の宇宙活動の自立性を維持・確保するために、戦略的に取り組むべき優先度の高い技術開発であること

視点②：官民の多様な利用ニーズを踏まえた共通基盤として活用が期待される技術、又は、月面開発など地上で蓄積のある様々な分野の要素技術を結集・発展することが必要な技術の開発であること

視点③：関係省庁が縦割りを打破し、連携して取り組むことが必要な技術開発であること

2. スキーム

- ◆ 戦略プロジェクトの選定 : 小委員会が行う。廃止、追加を含めた不断の見直し。
- ◆ 予算の移し替え : 主担当省庁と連携省庁を決定。宇宙事務局から主担当省庁に移し替えて執行。
- ◆ 実施者の選定 : 各省が公募（安保理由等で公募しない場合は各省ルールで）。採択は小委員会の承認。
- ◆ プロジェクト評価 : 小委員会の指示により、少なくとも年1回報告。プロジェクト終了後も報告。

3. その他

◆ 審議体制

- ・スターダストプログラムの推進に必要な調査審議は、小委員会が担当。
- ・必要に応じ、外部有識者も審議に参加。
- ・基本政策部会は、小委員会に対して必要な報告を求め、指示をする。

- ◆ 研究開発成果の扱い : PJ終了後も府省連携して政策課題に取り組む。知財等の適切管理・活用を推進。